

自主調査

再び広がる地域間所得格差
成長を続ける東京と取り残される地方の実情

定例調査

北陸の産業天気図

誌上セミナー

松下幸之助の実践に学ぶ
第3回 経営理念を突き詰める

企業紹介

有限会社 ジェイズコーポレーション

北陸歴史探訪

第13回 能登戦国の内乱とおおつき・いちのみや大槻・一宮合戦

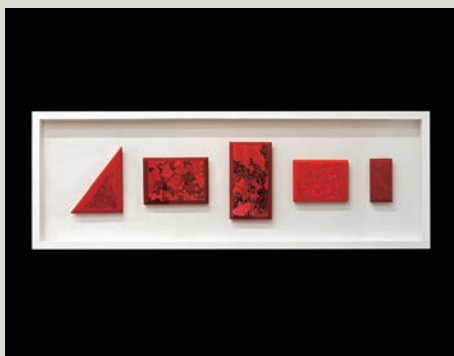
【加賀繻】名古屋帯「露草」（左）と「花の丸」（右）
確かな技術が生み出す色鮮やかな手刺繍は、
帯を一層華やいだものにしてくれる。



世界に誇る加賀繡の魅力を伝えたい

か が ぬい × よこやま さ ち こ
加賀繡 × 横山 佐知子 [石川県金沢市]

加賀繡は日本の伝統的な手刺繡の技法です。刺繡は仏教とともに5世紀ごろ日本に伝来したと言われ、仏壇の加飾や袈裟などに使われる貴重なものでした。室町時代に仏教の布教とともに加賀地方に伝わり、江戸時代には加賀前田家の庇護のもと、加賀繡として陣羽織や加賀友禅などの装飾に用いられ、独自の発展を遂げます。「加賀繡IMAI」は5代続く老舗の工房で、独自に染め上げた4000色を超える糸で繡い上げる繊細な作品に定評があります。立体感を生み出す「肉入れ繡い」やグラデーションが美しい「ぼかし繡い」などの技法による創造的な作品は、世界中の人を魅了し続けています。4代目となる横山佐知子氏は「後進の育成はもとより、5代目とともに新たな作品に挑戦しつつ、加賀繡の可能性をさらに広げていきたい」と、熱く語ります。



●オブジェ「五侯」 作：横山幸希
第62回日本現代工芸美術展(2024)現代工芸賞 受賞作品。
刺繡による新たなアートの世界を模索する。



●リング「肉入れ繡いリング」「飾り繡いリング」
決して宝石に劣らない繊細な美しさをリングに生かした作品。加賀繡ジュエリーとして指を美しく飾る。



●ショール「辻ヶ花」
好きなアイテムに、オーダーメイドの刺繡を入れる。



●バッグ「SACHIKO, YURI」
同じ材料で同じ製品を作っても、それぞれに作家の創造力という個性が表れる。



●額縁「12月クリスマス」「9月お月見」「6月かえる」「3月ひなまつり」
刺繡を使って部屋の中に季節を映し出す。



無心になって何時間も過ごすことがある。
ひと針ごとに思いがこめる。

加賀繡IMAI

石川県金沢市三口新町3-4-19
Tel/Fax (076)231-7595
E-mail:yokomitsu7788@yahoo.co.jp
左：横山佐知子(4代目)
右：横山 幸希(5代目)



横山 佐知子 伝統工芸士

略歴及び主な作品

1988年 祖母 今井福枝に師事
1994年 石川県伝統産業技能奨励者表彰
2006年 伝統工芸士認定
2012年 イタリアンブランド「FENDI」加賀繡BAGUETTE bag 制作
2014年 ファッションブランド「kiwanda」加賀繡bag 制作
2015年 ニューヨークブランド「VIVIENNE TAM」加賀繡ドレス&ブラウス 制作
2015年 VOGUE JAPAN15周年特別企画
イギリスファッションブランド「ERDEM」加賀繡ドレス 制作
2017年 ファッションブランド「HIRUME」加賀繡スカジャン 制作
2021年 現代美術展 入選・金沢市工芸展 入選
2022年 現代美術展 入選・金沢市工芸展 金沢エムザ社長賞
2022年 伝統的工芸品産業功労者等表彰 中部経済産業局長表彰 功労賞
2024年 伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰 功労賞

ホームページは
こちらからInstagramは
こちらから